【機能設計書】modules/route\_parser.py（project\_root/modules/route\_parser.py）

作成日時: 2025-09-20 15:55

1. 目的 / スコープ

・可視テキスト行から必要情報（出発/到着、所要時間、運賃、区間概要）を可能な範囲で抽出する

・失敗しても raw\_text を保持して結果を返す

2. 提供関数

・parse\_lines(lines: list[str]) -> RouteResult

3. 入出力定義

・入力: 行リスト

・出力: RouteResult（summary, legs, fare?, raw\_text）

4. 抽出仕様（例示）

・時刻: HH:MM 形式（24h/12h の表記差考慮）、出発/到着の語に近接するものを優先

・所要: "所要"/"分"/"時間" など近傍の数値連結

・運賃: 金額表記（例: \d{1,3}(,\d{3})\*円）

・区間: 路線名・駅名らしき連続行をブロック化

・抽出不可項目は None とし、raw\_text は常に格納

5. エラー

・入力が空の場合でも RouteResult(raw\_text="") を返す（例外にはしない方針）

6. テスト観点

・典型行サンプルに対する抽出の正否と回帰

・言語・表記揺れ（全角/半角、カンマ区切り等）への耐性